

Book Fan Newsletter

発行:平成27年10月15日
編集:塩尻市立図書館
0263-53-3365
(Book Fan Newsletter 40号)

書店員が選んだ

今月のおすすめ本

『認知症になった私が伝えたいこと』

佐藤 雅彦 / 著 大月書店

認知症になるとはどういうことか。当事者がみずからの言葉で表した「ありのまま」の姿は、認知症のイメージを一新する希望のメッセージです。認知症になるのは残念ではあっても決して不幸ではなく、できることはたくさんあり、認知症になっても幸せに暮らせる社会を一緒に作っていかうと考えさせてくれる1冊です。 (神田堂 大塚さん)



『ママがおばけになっちゃった』

のぶみ / さく 講談社

おっちょこちょいのママが死んでしまい、おばけになって子どもに会いに行くことから始まる物語。「死」というテーマを扱っていますが、決して暗くならず柔らかくて優しい愛情に満ち溢れた内容で、あたたかい気持ちになります。読み終わったあとは、きっと今まで以上にだれかに「大好き」という想いを伝えたいくなる素敵な絵本です。 (興文堂平田店 平林さん)



『奇跡の出版人古田晁伝 筑摩書房創業者の生涯』

塩澤 実信 / 著 東洋出版

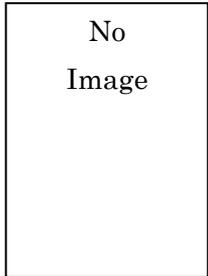
筑摩書房創業者の古田晁は地元・塩尻市北小野の出身です。古田は親友の臼井吉見と出版社を立ち上げました。経営は常に火の車でしたが、たまに企画が当たると作家たちに惜しげもなく利益を還元する徳の人でした。筑摩には神風が吹くと言われた舞台裏には、壮絶な人間ドラマと古田を慕う作家たちの友情物語がありました。 (中島書店 中島(康)さん)



『君が電話をかけていた場所 (メディアワークス文庫)』

三秋 雫著 / 著 KADOKAWA

公衆電話のベルが鳴り響く。僕はおそろおそろ電話に出てみた。受話器を取ると女の声がかんことを言う。「諦めきれない恋が、あなたにはあるはずですよ」僕は電話の女と賭けをした。あなたの恋が成就すれば賭けはあなたの勝ちです——受話器を取ってしまった瞬間、僕の不思議な夏が始まった。ひと夏の青春ストーリー。 (中島書店 百瀬さん)



※画像のない本は、図書館に所蔵していない本です。

📖 この面に掲載されている本の紹介は、市内に本店のある4書店にご協力いただいています。📖

神田堂 (52-1283)

注文品の迅速な手配を心がけており、地元著者の自費出版本など地域とともに活動しております。

興文堂 (97-3949)

<長野県の書店が選んだ逸品>を秋のお供に。IPPIN文庫・・・数ある文庫の中から選抜されたおすすめの本60作品・・・開催中!!!

中島書店 (54-3968)

11月7日(土)に、第2回BOOK&CAFEを開催いたします。本と珈琲とお菓子で素敵な休日をお過ごしください。10:00～16:00

丸文塩尻書店 (52-5515)

えんぱーくから3階渡り廊下を使って徒歩約1分! 図書館で気に入った本、店頭にはない本は最短3日でお取り寄せいたします。

今月のおすすめ本

『ルイス・キャロル ハンドブック アリスの不思議な世界』

安井 泉 / 編著 七つ森書館

『不思議の国のアリス』が誕生して150年を迎えました。著者ルイス・キャロルがしかけた“ことば遊び”や“パズル”には不思議な魅力があり、今でも変わらず人びとを惹きつけます。イギリスでは様々なイベントが行われているそうです。

この本は、作品だけではなく大学教授で数学者だった著者と当時のイギリスの歴史背景についても知ることができ、さまざまな面から「作品を読み解く」楽しみをサポートしてくれます。
(外国文学担当 北島)



『賭けずに楽しむ日本の賭博ゲーム』

伊藤 拓馬 / 著 立東舎

花札を使った「こいこい」など日本で独自に生まれたゲームの中には、賭博に端を発するものも少なくないそうです。この本では、賭けずに楽しめる日本のゲームの遊び方を紹介しています。使うのは花札やサイコロ、トランプなど身近なものなので、これからのパーティーシーンにもぴったりです。
(芸術分野担当 鳴海)



『日曜日のハローワーク』

小田 豊二 / 著 東京書籍

世の中にあまり知られていないであろう職業を、読者にとっての第二の仕事という視点から案内人である著者がその世界に飛び込んで調査した職業ルポルタージュ。屋形船の船頭やコンビニアイス評論家など技と情熱をもった仕事に触れてみませんか。
(社会科学分野担当 藤木)



『ニッポン旅みやげ』

池内 紀 / 著 青土社

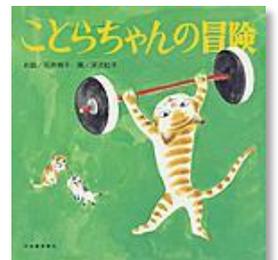
地元の人には見慣れた建物や様子も、旅人にとっては新鮮なもの、興味深いものにうつり、不思議に思ったりワクワクしたりするものです。自称「路上共和国の枢密顧問官」池内紀さんが、のんびり気ままな旅の途中で出会った全国各地40か所の場所・建物・風景は、読者の好奇心をくすぐり、いつか出かけてみたいと思わせるものばかり。長野県は軽井沢、駒ヶ根、須坂が紹介されています。
(紀行分野担当 布施)



『ことらちゃんの冒険』

石井 桃子 / お話 深沢 紅子 / 画 河出書房新社

いたずらこねこの“ことらちゃん”は好奇心旺盛。どんなことでもやってみよう。動物園までトラに会いにいたり、電車に乗ろうとしたり。優しい文章と絵が8つの小さな冒険に導いてくれる、子どもも大人も楽しめる一冊です。
(児童書担当 三守)



『純喫茶へ、1000軒』

難波 里奈 / 著 アスペクト

最近はチェーン店の喫茶店も増えましたが、作者は純喫茶をこよなく愛し、北海道から沖縄まで全国訪ね歩いた純喫茶は1300店以上。純喫茶のお店の看板のフォントや、マッチに懐かしい昭和の香りを感じます。松本の「まるも」も掲載されています。
(家政分野担当 村上)

